

戦争を許さない女たちのJR連絡会



# いのち輝く

わたしのピーストレイン

〒141 0031 東京都品川区西五反田3 2 13 JR総連内 ☎ 03 3491 7191 JR 057 4596

## 米空母ジョージ・ワシントンの横須賀配備に反対!

世界最大級の原子力空母ジョージ・ワシントンが9月25日、米海軍横須賀基地に入港、配備されました。

5月の「乗組員兵士によるタバコの火の不始末と不適切に置かれた潤滑油が原因」とされる火災事故、そして原潜ヒューストンの放射能漏れと通報の遅れなど、周辺住民の原子力空母に対する不安は頂点に達しています。しかし事故の情報公開も不十分なまま、市民への説明会の開催も拒絶しての強行配備でした。

市民団体から呼びかけられた9月25日の「横須賀入港阻止集会」には、私たちが9条連とともに参加し、配備反対を訴えました。



また、横須賀を母港とする空母はこの間のイラク戦争で、艦載機は5000回を有に超える出撃を繰り返し、イラクでの空爆を行う主力部隊です。原子力空母の配備により一層の軍事強化がはかられます。

横須賀ではその是非を問う住民投票条例の制定を求める署名運動が2度にわたって行われ、5万筆を超える署名を集めました。2回とも市議会で否決されましたが、原子力空母配備に不安を抱き、自分たちの将来は自分たちが決めたいと願う横須賀市民の声は確実に広がっています。(横浜・M.K)

### 原子力空母は要らない!

波に揺られ振動する原子炉を積んだ航空母艦=原子力空母は原発よりもはるかに危険です。それが日本有数の超過密航路・浦賀水路に配備されたのです。もし、事故が起きれば死の灰が首都圏一帯を襲い、子や孫にまでガンや白血病の被害が及び、また大地震などが発生した場合は尋常ではない災害となるでしょう。

## えん罪「JR浦和電車区事件」控訴審勝利をかちとろう!

不当判決から1年5カ月経つ12月から、えん罪JR浦和電車区事件控訴審が開始されます。突然の逮捕、弾圧によって、自由を奪われ、職場をも奪われた7人の完全無罪と職場復帰を、何が何でも勝ちとらなければなりません。私たちが美世志会・家族とともに、控訴審勝利に向けて闘いぬきましょう。

私たちは、様々なえん罪事件の被害者や支援者の皆さんと連帯し、さらに多くの方々に事件の真実を

訴えていきましょう。

逮捕の日から6年目となる11月1日の大集会の成功、美世志会へのメッセージなど、私たちもできることを取り組みましょう。

控訴審日程

第1回 12月15日(月)

第2回 1月21日(水)

不当判決を覆し控訴審勝利を勝ち取る11.1大集会(仮称)

場所: 日比谷野外音楽堂

日時: 11月1日 13時から

おなじの花  
大瀬慶逸

小菅でよためぐわさ  
おなじの花へでけたネ  
おなじの花もらって  
わ、めくせがたばって  
そのうじ  
はだるきもじになったオン  
わ、へずねし  
ゆるぐねばって、  
小菅で  
てっぺけつばるじゃ。



(方言解説)小菅で心が揺れる/女性たちに花を差し入れてもらった/女性に花をもらって/私は、恥ずかしかったけれど/そのうち/自分の方から要求するようになった/私は、辛い/容易ではないけれど/小菅で/精一杯頑張る決意だ

新テロ特措法(給油新法)の延長に反対!!

# 7/26 女たち 全国集会開催

# 手をつなごう

「戦争を許さない女たちのJR連絡会」は7月26日、全国から160人の仲間が集い、東京「ホテルフロラシオン青山」で全国集会を開催しました。

第1部の「総会」では、玉盛代表のあいさつのおと、JR総連・武井委員長、参議院議員・今野東さんから来賓あいさつをいただき、大久保事務長から経過と今後の取り組みが提起されました。総会の中で、これまで取り組んできた反弾圧・平和のネットワークづくりをさらに広げることを確認しました。

**私たちのまわりから、  
見つめよう！行動しよう！  
平和・安全・未来に向かって**

第2部「集会」の講演では、食文化研究家の魚柄仁之助さんが、「食」をテーマに「食料自給率は上げなくていい」とのタイトルで、ウイットの効いた語り口で講演しました。伝統的な日本の食文化を家庭の食卓に



魚柄仁之助さん  
◀歪んだ現代の食生活を気づかせてくれた魚柄さん



どうやって甦らせるのが、食へのこだわりの深さと、すぐにも取り入れたい調理法の話に、興味をそそられ参加者は身を乗り出して聞き入りました。

休憩時には、日本国際ボランティアセンター（JVC）アムネスティインターナショナル日本、9条連、ティナラク織の会、戦争ホーキの会などが物販を行いました。またさまざまな署名や、カンパ

協力などを呼びかけました。

休憩をはさんで、松崎明さんが「再び戦争を許さないために」と題して講演。労働運動のリーダーとして平和を希求し、9.11の直後「ブッシュ、ブレア、コイズミ」を「世紀の犯罪人」と断じた松崎さん。自ら弾圧を受け続けてきたことや、JRの労使関係への鋭い分析が語られました。資本制社会を見据え、戦争を根本的に根絶し、労働者として、人間として、命を守りたたく仲間を拡げていこうと訴えました。



「悪や不正と闘おう」と松崎さん



玉盛代表



武井委員長



今野東さん

交流会では、さまざまなえん罪に苦しんでいる人たち、それを支えて闘っている皆さまにお話をいただきました。



無実の人が有罪になり、犯罪者になってしまう世の中を変えよう。冤罪被害者をなくそう。個人では小さな

力。でも互いに手を携えれば強く支えあえる。ともに力を合わせて平和な社会をつくろう...。そんな思いが一つになった交流会でした。

最後にみんなで「朝露」、「Love & peace」を歌いました。多くの来賓の皆さま、お忙しいなかをご出席いただき、ありがとうございました。

多くの皆様から心のこもったメッセージをいただき、ありがとうございました。  
秋山淳子、石田綾子、岡田黎子、荻野洋子、小淵真理、河村恵子、木瀬慶子、宮野美喜子、近藤恭子、近藤恵子、近藤日佐子、在日本朝鮮民主女性同盟中央本部、佐藤喜美子、桜井昌司、芝実生子、関千枝子、東郷潤、友田良子、初鹿野恵蘭、船川均、穂坂晴子、星川一恵、松崎都、門間幸枝、宮城喜久子、山邊悠喜子、吉村敦子

(敬称略・50音順)

# いのち輝く未来へ!!

袴田巖さんを知って41年になります。袴田さんは重い拘禁症にかかっています。皆さんからいただいた署名で10万筆も夢ではなくなりました。ご支援に心から感謝します。



無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巖さんを救う会・門間さん



明倫中事件(山形マッティ死事件)家族

息子はやっていないと言っています。息子の他にもえん罪で苦しんでいる方々と一緒に頑張りたいと思います。世の中恐ろしいです。皆さん自分の子どもさんを守ってください。

## えん罪をなくそう



無実の守大助さんを支援する首都圏の会・藤沢さん

えん罪はたくさんあります。「北陵クリニック事件」で、何の落ち度なく働いていた守大助さんが無期懲役で千葉刑務所で、無実を晴らすために再審を求めて闘っています。いろいろ運動をしている人たちと協力しあっていきたいと思います。

### 大交流会

えん罪と闘っている皆さんからあいさつをいただきました



無実のゴピンダさんを支える会・客野さん

ゴピンダさんは現在無期懲役に服しています。えん罪を訴えても裁判所が有罪と言えれば有罪になる。関心を持つのは少数の人。ぜひ事実を知ってほしい。

**三浦和義さん逮捕は不当**  
三浦和義さんがサイパンで逮捕されて半年、女たちの全国総会では長期勾留中の三浦さんへの支援カンパを取り組み、奥さんに手渡しました。今後、三浦さんはロサンゼルスに移送され、更に厳しい条件におかれます。長年にわたり「ロス疑惑」で裁かれ、最高裁で無罪が確定した三浦さんを米国が再び逮捕し裁く権利があるのでしょうか。日本政府は、明確な最高裁で無罪になった日本人の人権を守る義務があるはず。米国に国家としての主権を侵害されている日本政府は見解を示すべきです。



サイパンで身柄を拘束された三浦和義氏の奥さん・良枝さん



美世志会・大澗さん

全国の仲間、多くの方に支えられ頑張れました。私たちは組織がありますが個人でえん罪を晴らすことは本当に大変だと思います。真実は勝たねばなりません。7名・家族は前進するのみです。



昨年7月13日の不当弾圧から一年たちました。多くの支援ありがとうございました。家族も今は一緒に頑張りなればと、妻自らマイクを持って市民に訴えています。

◀えん罪 JR蒲郡駅事件の加藤誠一さんと家族

アナベル・バクさん  
インタビュー

## 日本軍従軍「慰安婦」問題

# あなたはどんな未来を切り拓きますか



2007年7月、米下院議会で「慰安婦」問題に関して日本政府に公式謝罪を求める決議が採択されました。その水面下で、200以上の市民団体からなる「121連合」を結成し、全米コーディネーターとして米国各地で説得活動を続けたアナベル・バクさん。現在は、韓国や日本に出向き、講演などの活動を通じ「慰安婦」問題解決のため奔走なさっています。アナベルさんが来日するというので、忙しいスケジュールのなか9月5日、JR総連の事務所にまで来ていただいて、インタビューを行いました。「慰安婦」問題を解決するために、私たちに何ができるの？どうすれば解決への道が見つかるの？と胸のなかにもやもやを抱えていた私。前向きなアナベルさんの話を聞き、とても元気づけられました。

アメリカでは「慰安婦」問題はそう知られていないと聞きましたが、アナベルさんがこの問題を知り、そして運動に入った契機は何だったのですか？

私は韓国で生まれましたが、アメリカに居た時間のほうが長いです。「慰安婦」の問題は歴史上のこととして、ただすごく昔にひどいことが行われていたこととして認識していました。

2007年2月に、下院決議案121号が提出された時、3人の元慰安婦がワシントンに来ました。オーストラリアから一人、韓国から二人です。おばあさんに実際会って、話を聞いて、これはあの歴史の問題じゃないか、それも女性の問題じゃないかと思いました。おばあさんが望んでいることは、簡単で、とても人間的なものです。ただ謝ってほしいということです。私は、それは癒し(ヒーリング)だと思いました。

全てが「癒し」に繋がっている...

私は、「慰安婦」の問題が過去に外国で起こった悲劇だと考えるのをやめました。おばあさんたちが望んでいることは、日本政府が真実を認め、「ごめんなさい」と謝ることです。

私にとって、元慰安婦の方々の癒しが全ての問題に繋がっています。アジアの人たちの癒しにも。彼らは過去の戦争からまだ癒されていないからです。日本、中国、フィリピン、韓国、あちらこちらの人々が癒されていない。ヨーロッパは全然違う道を歩きました。戦後ドイツが責任をとり、人々は謝罪と責任を受け入れ、彼らは癒されました。アジアはただ耐えているだけであり、癒されていません。

去年、安倍前首相は(「慰安婦」を軍が強制したという)「証拠がない」と発言し、中国、アメリカ、世界中の人々がとてもショックを受け、怒りました。安倍発言なしでは、決議はなかったと思います。日本大使館は「私たちは謝罪し、責任もとったのに、なぜ決

議を通すのですか？」と言い、その後、安倍前首相が「もう謝罪しました」と発言。でも、事実も認めてないのにどうやって謝ることができますか？

日本の右翼はとても過激です。米国の議員たちは恐れをなして、「慰安婦」問題に蓋をしました。しかし、右翼の人たちがワシントンポストに「事実」という全面広告を出したことで、パンドラの蓋を再び開けてしまいました。とても醜い広告でした。

日本が真のリーダーになるには

この決議は、「慰安婦」問題だけではないのです。日本人がどんな未来を切り拓くかを求めています。事実を認め謝罪するまでは、日本と他の国々でよい関係は作れないでしょう。日本は、そのような状態をいつまで続けるのですか？日本の人たちに考えてほしい。どんな日本になってほしいのか？世界の人々は、過去の悪事を隠している日本を信用できません。他国の人々とよい関係を作らなくても、日本はアメリカに依存した関係を続けることができるでしょうが、得をしているのは日本の右翼だけです。答えは明らかでしょう。責任をとるべきです。そうすれば元慰安婦の方々は許し、アジアの国々も喜んで謝罪を受け入れるでしょう。そんな日本の変化をみんな待っています。



戦争は大きな間違い

日本が世界で本当のリーダーになることは可能だと思います。経済的だけではなく、アメリカに追随するだけではなく、日本はリーダーになれると私は信じています。戦争とか石油、競争などといった古い世界ではなく、協力とか友情とか信頼という新しい世界のリーダーに。



世界は、そのようなリーダーシップを必要としている。なぜ石油のことで争うのか、なぜ戦車や飛行機、武器に多額の金をつぎ込むのか？日本は、世界の指導者の重要な位置につけるでしょう。貴方たちが世界をひっぱっていけるのです。「アメリカは友達であって、親ではない」「アメリカとよい関係を作りたいけれど、命令される筋合いはない。イラク戦争に協力できないし、戦争は大きな間違いだ」と言うべき時です。

**日本で「慰安婦」問題について話しにくい雰囲気があります。**

日本には、「慰安婦」問題に関して3種類の立場の人がいます。1番目は、私たちは一度謝ったのになぜもう一度謝らなければならないの？という人。2番目は、なぜ謝る必要があるのか？という人たち。3番目は、私たちが過ちを犯した。謝罪する必要があるという人たちです。ほとんどの人たちは、1番目のグループに属すると思います。なぜなら、日本の公式な立場だからです。

1番目の人たちと話し合いをすべきでしょう。2番目の人と話しても意味がありません。今まで採択された米国、欧州、カナダ、オランダの決議には「あなたは謝罪の必要がある」と書いてあります。「一度は謝ったけれども、それは充分ではありませんでした。河



JR総連武井委員長と目黒さつき会館の女性たちで

野談話をもっとよくしましょう」と言っています。河野談話がなぜ不十分なのか？河野談話をもっと勉強しなければなりません。

### 次の世代に繋げましょう

よりよい謝罪をし、河野談話を深め、国会で法案を通しましょう。その後で、補償や教科書の問題を解決していけばいい。これが、一番重要なスタート地点です。

最後に、ぜひ若い人が中心になって「慰安婦」問題のキャンペーンを行ってほしい。みんなが一緒になって運動をすることで、それが次の世代へと繋がっていきます。これからの日本の未来を見据えた新しい運動が必要だと思います。不屈の民主主義を確立するために、「慰安婦」問題を通して、日本の未来に焦点をあてた広い運動にしてほしいと思います。

## 日本から「慰安婦」問題解決を!!

日本政府は「慰安婦」被害者に「何度も謝罪した」と言いながら、被害女性たちの尊厳を傷つける言葉を繰り返して、公式謝罪も賠償もしていません。そういう日本の口先だけの謝罪に、2007年7月、アメリカ下院は誠実さと責任をはつきりさせるよう説いた勧告を日本政府に出しました。

また、11月にはオランダとカナダで、12月には欧州議会で日本政府へ謝罪を求める勧告が出されました。今年6月には国連人権理事会の人権審査で「慰安婦」問題の勧告が出されました。

このように世界から「慰安婦」問題は注目され、解決しようとしていない日本政府の対応が問われています。しかし、日本政府は世界の声を今も無視し続け、海外の動きを知らせる報道はほとんどありません。

被害女性たちが高齢となられ、一日も早い解決が急がれる中、11月にアジア連帯会議が東京で開催され、国会行動も予定されています。この動きを受けて、8月に関西で「慰安婦」問題解決の運動をしてきた団体・個人が関西フォーラムを開催しました。決議をあげるために草の根運動をしてきたアメリカとヨーロッパの運動家に来ていただきました。その一人、アメリカのアナベル・パクさんは、知識としては知っていたが、やらなければならぬ問題だと思っただけで被害者の証言を聞いた2年前からだそうです。

また3月、宝塚市では、政府の誠実な対応を求める意見書が採択されましたが、これを担ってきた市民や議員たちも被害者の証言を聞き、自分たちの問題として動き始めたそうです。これに続くように、関西ではいくつかの市で市議会への運動を始めています。

「慰安婦」問題は過去の問題ではなく現在の問題です。女性だけの問題ではなく男性と共に考える問題です。世界の人たちと連帯して闘っていますが、加害国・日本が解決すべき問題です。私たちが解決していきましょう。

(星砂の会・NS)



# 無実の袴田さんを救おう

## 9月5日 静岡地裁 再審求める署名提出

9月5日、「無実の死刑囚・元プロボクサー・袴田巖さんを救う会」の皆さんが、袴田事件の再審を求める請願署名を静岡地裁に提出

袴田事件とは  
42年前、静岡県清水市の味噌屋で起きた強盗殺人事件。当時従業員だった袴田巖さん(30歳)は二カ月後に不当逮捕、自白の強要により、犯人にされ死刑判決を受ける。袴田さんは獄中で無実を訴え、闘い続けている。

出しました。JR総連からも加藤共闘部長、湯谷広報部長、「戦争を許さない私たちのJR連絡会」の大久保事務長が同行しました。

今回提出した署名は、36,902筆で、同会が一回に提出した署名のなかでは最多のものです。私たちは、JR浦和電車区事件やJR蒲郡駅事件を通じて、えん罪で苦しむ全ての人と手を携えていきたいという思いから、「救う会」の署名に積極的に協力してきました。同



会、さらに袴田さんの姉・秀子さんからは、JR総連そして「私たちの会」に対し「皆さんに心から感謝します。さらに頑張っていく力をいただいた」という感謝の言葉が寄せられました。

署名に協力していただいた皆さん、ありがとうございました。

(M.O)

# 中国平和研修に参加 真実を見極め伝えるために

9月13日から17日まで、郵便局の仲間が主催した中国東北平和研修に「おりづるの会」から2名が参加。

総勢16名でハルビン、瀋陽、大石橋、撫順を訪問しました。9月16日、この日は1932年に起きた平頂山事件から76年目にあたり、平頂山惨案遺址記念館では記念式典が催され、私たちも地元の学生や団体と共に参加しました。新築された展示館にはJR東海が過去に訪問した際の横断幕や写真、色紙などが展示してあり感激しました。



また、同じ日に9.18事变博物館を見学。館内では中国の若者たちが展示してあるレリーフに抱きついたり、犠牲者の写真とふざけたポーズで撮影をするなど信じ

られない光景を目の当たりにしました。

日本の歴史教育は都合の悪いことを歪曲したり削除したりします。しかし、中国では子供の頃から歴史教育が徹底されていると過去に参加した研修で何度も聞きました。ネット情報ひとつで抗日デモに異常な盛り上がりを見せるテレビの中の若者たちの姿に疑問を感じていましたが、ここで見た若者たちの姿にはなんともやりきれない思いで胸が痛みました。子供たちへの「教育」の大切さと、自分自身が真実を見極め、伝えていくためにはまだまだ多くのことを学ばなければならないと実感した研修でした。

(おりづるの会 Y.K)

こらむ  
流行のダイエツト法の影響で、今全国のスーパーの棚から、バナナが消えているらしい。それを聞き、真っ先に頭に浮かんで来たのは、かつて流行した「ナタデココ」だ。当時東南アジア諸国の農家は、日本人のニーズに合わせ、大金をはたいてナタデココの増産に乗り出した。しかしブームはそう長く続いた訳でもなく、日本人の気まぐれで、東南アジア諸国の農民たちが路頭に迷わせてしまったのだ。

私は、ブームが去った後の農家の悲壮な姿を報道番組で見たことがある。スーパーの空になったバナナ売り場を見て、ふと自分の欲望の先に何があるのかを、じっくりと考える機会を与えられたような気がした。

(S・A)



創ろう！いのちの森 守ろう！水源の森  
ネイチャーフェスティバルに参加！

9月14日、秋晴れに恵まれた第5回ネイチャーフェスティバル。地球環境に優しく、自然と親しみ家族で楽しめる地域発の催しに、女たちも参加しました。今年「骨付きフランク」に加え、手創り「カボチャ団子」に初挑戦。大盛況で賑わい早々に売り切れ御免となりました。

